

2024年3月19日

\*本リリースは、AUDIAG 配信資料の翻訳版です。

## Audi charging hub がフランクフルトにオープン： 簡単な操作、素早い充電、バリアフリー

- 回転式アーム、高さ調整可能なディスプレイ、十分なスペースにより、誰にでも簡単に充電可能
- 提携先のクラシックシュタットフランクフルトが食事やサービスを提供
- 新しいサービス：ニュルンベルクの Audi charging hub のサポートアドバイザーがバーチャルガイドランスを提供

(ドイツ本国発表資料) 2024年3月5日、フランクフルト/インゴルシュタット：アウディは、フランクフルトに6番目の Audi charging hub (アウディチャージングハブ) をオープンしました。ステーションが設置されたオーバー通り (Orber Straße) では、4つの急速充電 (HPC) ステーションを備え、アウディに限らずあらゆるメーカーの電気自動車、最大 320kW の出力で充電することができます。ユーザーは充電中に、隣接するクラシックシュタットフランクフルトで有意義な時間を過ごすこともできます。クラシックシュタットは、以前は工場として使用されていた歴史的建造物を改装したクラシックカーの体験空間で、世界的に有名なヴィンテージカーやモダンなクラシックカーのコレクションを収蔵し、幅広いサービスを提供しています。アウディは、お客さまに魅力的で快適な雰囲気の中で、軽食や飲み物、食事を楽しんでいただけるようこの施設と提携しました。さらに、すべての Audi charging hub はバリアフリー設計となっており、特許登録済みの回転式アーム、高さ調整可能なディスプレイ、そして充電操作に十分なスペースを備えているため、車椅子をお使いの方も含めて、誰でも簡単に充電することが可能です。

回転式アームにより、充電ケーブルの重量は約60%削減されます。そのため、車椅子をお使いのお客は、片手で車椅子を動かしながら CCS コネクタを持つことができます。CCS コネクタホルダーは、車椅子ユーザーの利便性をさらに高めます。また、屋根が設置されているため、雨天時にも濡れずに充電することが可能です。さらに、回転式アームにより、充電ソケットが車両の前後左右どちらの側に設置されていても、問題なく充電することができ、ドライバーは停車位置に気を使う必要がなくなります。自動ケーブルは自動でアームに格納されるので、充電ケーブルにつまずいたり、車椅子の進路を妨げたりすることはありません。また、ケーブルは常に乾いた状態で使用できます。

フランクフルト市議会議員で経済・法律・都市マーケティング部門の責任者 ステファニー ヴュスト (Stephanie Wüst) 氏は、「フランクフルト中心部では、数多くの電気自動車が走っています。同時に、充電ポイントの数も増え続けています。Audi charging hub は、新たな充電ポイントとして利用されるだけでなく、隣接するクラシックシュタットで待ち時間を楽しく過ごすこともできます」と述べ、市内およびその周辺での急速充電は、自宅や職場で車を充電できないドライバーにとって、特に重要だと指摘しています。

アウディは、都市部における充電インフラの整備に投資しています。Audi charging hub 導入展開管理責任者 ニコライ ゼンスト (Nikolai Senst) は、次のように述べています。「フランクフルトでは、年間約5,000回の充電需要が見込まれています。ここでも、他の場所と同様に、お客様のリピート率は高く

なるだろうと見込んでいます」。ニュルンベルクでは、2021年12月から、6つの充電ポイントと2階に200m<sup>2</sup>のラウンジを備えた Audi charging hub を運営しており、リピート率は約70%となっています。このハブはアウディに限らずすべてのブランドのドライバーが利用できます。アウディのお客様は、myAudi アプリを介して、オンラインで充電スロットを予約することもできます。

Audi charging hub には、解体された e-tron のテスト車両から取り外したセカンドライフバッテリー（使用済みバッテリー）を使用しています。その結果、アウディは現地で利用可能な低圧電源を利用することができ、追加の変圧器を設置する必要がありません。一時的なバッテリー蓄電能力は、4つの充電ポイントで合計約1.05MWhで、これは60台の車両を続けて充電できるエネルギー量に相当します。

#### すべてのユーザーが容易にアクセス可能

4つの充電ポイントの左右には、車椅子のお客様が移動できる十分なスペースがあるので、車両のドアをいつでも大きく開けておくことができます。回転式アームは側壁の上端に取り付けられていて、充電ケーブルを簡単に車両の充電ソケットに差し込むことができます。充電プラグを腰の高さのホルダーに戻すと、自動的に収納されます。アウディオーナーのウーヴェヘルマン（Uwe Herrmann）氏は、「これらは、私たち車椅子ユーザーにとって非常に役立つ機能です」とコメントしています。彼は、ガソリン車の給油の際、周囲に助けを求めることが度々あったといいます。「Audi charging hub なら、人に助けを求めることなく充電することができます」。さらに、ディスプレイの高さを調整できるので、ユーザーは充電プロセスの間から終了した後、充電ステータスや充電時間などの情報を見ることができます。アウディは、Audi charging hub の設置にあたり、周囲に障害物がないか事前に調査を実施しています。

アウディのブランドアンバサダーゲルトシェーンフェルダー（Gerd Schönfelder）氏は、次のようにコメントしています。「このように Audi charging hub は、身体に障害を持つユーザーが迅速かつ便利に充電するための理想的な場所となるだけでなく、回転式アーム、充電ステーション間の十分なスペース、高さ調整可能なディスプレイがあることで、誰もがバリアフリーコンセプトの恩恵を受けることができます」。シェーンフェルダー氏は、冬季パラリンピック競技大会のスキー種目で16回の金メダルを獲得し、ワールドチャンピオンにも14回輝いています。「回転式アームは私にとっても大きな助けになります」。腕を失っている彼は、運転補助装置を装着した Audi Q4 e-tron を運転しています。2007年、アウディは、コンフィギュレーターに運転補助装置を組み込んだ最初の自動車メーカーになりました。「急速充電、快適性と利便性、そして価格に至るまで、パッケージ全体が非常に魅力的です」とシェーンフェルダー氏は付け加えています。この急速充電ポイントの利用料金は、アウディのお客様の場合、契約に応じて、0.35ユーロ/kWhからに設定されています。

#### バーチャルヒントとサポート

ベルリンとミュンヘンでのテストに続き、フランクフルトでもカスタマーサービスコンセプトが初めて採用され、特別なトレーニングを受けたスタッフが、カメラを通じてヒントやサポートを提供しています。サポートアドバイザーは、ユーザーの充電プロセスをリモートで確認することができます。認証中に問題が発生した場合は、例えばクレジットカードで支払うオプションを提案することができます。アウディは「Plug & Charge」の設定に関するサポートも提供します。このサービスにはホットライン経由でアクセス可能です。「本サービスは、テスト段階で非常に好評でした」とゼンストは説明しています。

ブランドアンバサダーのゲルトシェーンフェルダー氏とアウディオーナーのウーヴェヘルマン氏の対談は、[こちら](#)からご覧いただけます（英語版）。この対談では、簡単にアクセス可能な充電インフラの要件と Audi charging hub について意見を交わしています。



フォルクスワーゲングループジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：  
アウディ コミュニケーションセンター  
0120 - 598106



---

アウディグループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12カ国21カ所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2022年、アウディグループは、161万台のアウディ、15,174台のベントレー、9,233台のランボルギーニ、および61,562台のドゥカティを販売しました。2022会計年度において、アウディグループは総収益618億ユーロ、営業利益76億ユーロを達成しました。世界中で、アウディグループでは2022年に87,000人以上が働き、そのうち54,000人以上がドイツのAUDIAGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。

---